

かくだ市議会だより



第428回定例会

- 概要・質疑・討論 …… 2
- 市長の所信表明・会派代表質問 …… 3
- 決算審査特別委員会 …… 4～5
- 議案審議結果 …… 6
- 一般質問 …… 7～12

角田市議会から

- 阿武隈急行線の存続を求める決議 …… 13～14

【今号の表紙】

『稲わらロールのある風景』

晩秋になると楽しい光景があります。「稲わらロール」の景色です。夕方近くに田んぼに有りそうな場所を探しておき、翌朝、回収される前に撮影する、楽しいカメラ散歩の一枚です。

≪撮影≫石原 三雄 さん

撮影日：2023年11月1日 場所：角田市毛萱

第428回 定例会 9月

第428回定例会は8月30日から9月26日までの28日間の会期で開かれました。

市長から提案のあった条例の改正、補正予算、令和5年度各種会計決算などの議案17件を審議し、原案のとおり可決・認定しました。また、副市長と固定資産評価審査委員会委員の選任、教育長と教育委員会委員の任命、人権擁護委員の候補者の推薦について同意・適任としました。

一般質問では、10人の議員が市政全般にわたり論戦を繰り広げ、市長の所信表明に対する会派代表質問も行われました。

最終日には、議員提出議案が1件提出され、全会一致で可決しました。

議案第64号

市営住宅条例の一部改正

管理代行制度（入居者の募集や決定など管理権限行為の代行）を導入するに当たり、入居者要件等の変更など、所要の改正を行うもの。

問 連帯保証人の要件について、市内在住者2人から県内在住者1人に条件を緩和する理由を問う。

答 連帯保証人を立てる場合、多くの方が親族に依頼することが想定されるが、親族が市内にいない、親族の数が少ないなどの理由で2人の連帯保証人を立てることが難しいとの相談があり、入居希望者の負担軽減のため、緩和するものである。

議案第65号

一般会計補正予算（第4号）

商工振興費

（地域消費喚起緊急支援事業）

5,853万円

問 購入方法が昨年度までと異なるようだが、詳細説明を求め。

答 郵便で全世界帯に案内を送付し、購入を希望する世帯の方は申込書を返送する（事前申込制）。なお、申込数が販売数を超えた場合、抽選で購入数を調整する。販売方法を検証し、多くの世帯の方が購入できるようにした。

【事業概要】

1セット	1万3,000円
販売価格	1万円
販売数	1万7,000セット
購入対象者	世帯主
購入方法	事前申込制
購入可能数	上限1世帯5セット

※購入申込は10月31日で締切ました。当選者には11月中に通知が届き、指定の期間・販売先で購入となります。

議案第75号

みやぎ県南中核病院企業団規約の変更

みやぎ県南中核病院 院附属村田診療所（以下「村田診療所」という。）の管理及び運営に要する経費の負担割合を変更するため、議会の議決を求めるもの。



問 村田診療所の経費を角田市も負担することになった背景を問う。

答 当初、本市は仙南医療圏での二次医療の完結と高次救急医療施設を併せ持つ、仙南の中核病院の整備を目指すことは合意していたが、村田診療所に関しては負担しない考え方であった。しかし、村田診療所と中核病院の運営は一体的であり、構成自治体の1市3町で負担することが妥当と判断したことや、その後の協議において、管理運営費のみの負担で建設整備は含まないことなどから、合意できる負担割合であると判断したためである。

今回のリニューアルで、村田診療所が中核病院の一次診療窓口として開設、また、小児科医療機関がない本市の要望で、予約制ではあるが小児科が開設したこと、より有用な施設となった。なお、今後、病院運営全般にわたる関わり方の見直しも含め、検討をしていく必要があると認識している。



反対討論
日下 七郎

村田診療所の資産は、柴田町・村田町・大河原町の所有である。そもそも一部事務組合規約とは、資産所有町が管理及び運営に要する経費を負担するもので、資産未所有の角田市にその負担を求める規約変更には反対である。



賛成討論
菅野 マホ

この度、村田診療所に小児科外来が設置され、角田市にとっても一次診療窓口として有用であること、安定的な医療供給を「地域全体で支えていく体制構築」が不可欠であることなど、十分に納得しうる内容である。



賛成討論
菊地 利衛

経費を新たに角田市も負担する理由が、診療所を市内に設け小児科を誘致するためであることは理解したが、駆け引きも辞さずこの機会を活かし確定させたのち上程すべきだった。誘致の早期実現を求め、賛成とする。

黒須市長 所信表明

二期目の黒須市長が、今後の市政運営や施策など重点的に取り組む内容について、角田市第6次長期総合計画に基づき、3つのまちづくりの基本理念に沿って表明しました。要約してお知らせします。

【市民力】

- ☑市民活動団体の設立・運営・活動・連携の支援等を行う市民活動支援センター（仮称）を令和7年度に開設
- ☑人材の掘り起こし、関係人口づくり、地域おこし協力隊の受け入れ
- ☑小中学校のふるさと学習・高校の地域探究活動支援など教育環境の充実と若者会議の継続、かく大学の展開
- ☑児童福祉充実のため、こども家庭センター機能を整備

- ☑住民同士がつながり支え合う地域コミュニティ実現のため、市民と行政による協働
- ☑みやぎ県南中核病院に周産期医療復活・小児科医療充実の働きかけと市内への小児科誘致
- ☑学校施設整備基金の積み増しと教育振興基金（仮称）設置の検討

【地域資源フル活用】

- ☑有機農業の推進、若者の更なる就業促進、スマート農業の普及
- ☑角田宇宙センターとの連携による企業誘致
- ☑防災・減災対策の推進
- ☑国・県に国道349号谷津前地区の嵩上げなど市内外の横軸をつなぐ道路網整備を申し入れ
- ☑阿武隈急行線の鉄路存続を関係団体と協議し活路を見出す。

市長の所信表明・会派代表質問

角田市第6次長期総合計画

（計画期間：令和4～13年度の10年間）
角田市でどのようなまちづくりをするのか、そのためには何が必要なのかをまとめた角田市のまちづくりに関する最上位の計画です。

具体的な取組み【分野別施策】



図：「角田市第6次長期総合計画概要版」より

会派代表質問



かくだ未来倶楽部
武藤 広一

議員▶令和7年度開設の「市民活動支援センター（仮称）」の開設場所と業務内容を問う。

市長▶まちづくり推進課を中心に各課が連携し、人・情報・地域をつなぐことをキーワードに、市民活動の継続とステップアップの支援を行う。

議員▶2年目に入る「地区計画」一見直しの進捗状況と今後の予定を問う。

市長▶現時点で、桜地区が見直しを完了し、計画実施に向けて部会活動を行っている。西根地区もおおむね見直しを終え、最終調整を行っている。その他の地区でも地区民アンケートに基づき話し合いを進めている。

議員▶「子育てしやすいまち 日本一！」を目指し取り組むとあるが、これまで「小児科誘致」の実現に向けて分析・検討した内容と計画を問う。

会派代表質問とは、会派に所属する議員が会派を代表して質問することです。角田市議会では市長の所信表明と施政方針（2月定例会）に対して行われます。

市長▶令和5、6年度に民間コンサルティング会社に業務委託をし、採算性を検討した。新規、単独での開設は採算が難しい見込みとの報告があったが、補助制度等により新規開設の初期費用等、インシヤルコストに一定程度の手当ができれば採算が見込まれ、小児科招聘の実現可能性がある試算となった。現在、財源等を考慮し補助制度創設に向けて準備、検討を進めている。今後、医師会等の関係機関から意見を伺いながら調整したい。

議員▶「小児科誘致」の市長の意気込みを問う。

市長▶実現に向けて誠心誠意努力する。

議員▶教育振興基金（仮称）の使途と財源を問う。

市長▶新しい時代の人材を育てるため、これまでの教育の枠にとられず、より幅広く高度な教育が必要である。学校教育のほか、社会教育も含めたソフト事業の充実を図る。なお、財源はふるさと応援基金等を活用していく。

議員▶市民の足である阿武隈急行線を鉄路で存続できるよう、県・沿線自治体・鉄道事業者と協議し活路を見出すとあるが、市長の意気込みを問う。

市長▶阿武隈急行線は、本市の公共交通システムの要であり、重要なインフラだと捉えている。この秋をめどに宮城県側の意見を集約すべく、現在、協議を重ねている。本市は、一貫して鉄路継続を主張し働きかけている。

議員▶重点的にやるべき12項目（途中省略）について質問したが、市長の思いの丈を色濃く打ち出す施策を問う。

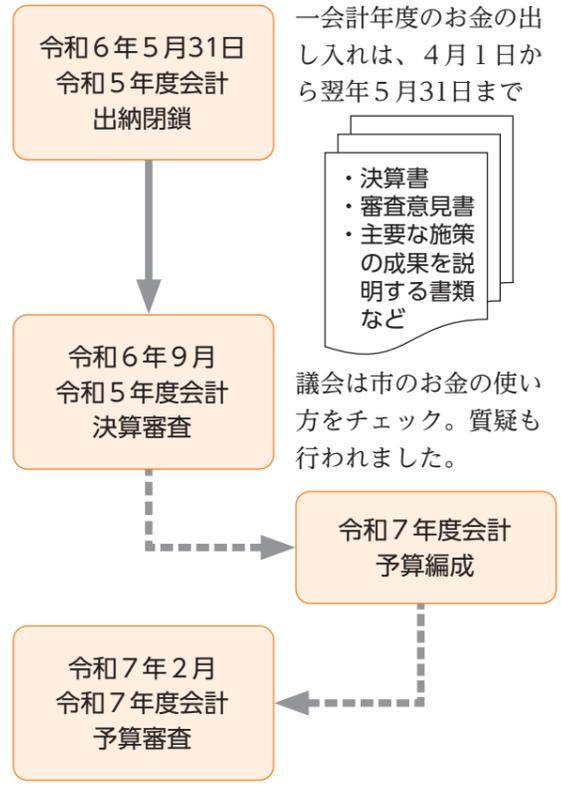
市長▶小児科の招聘、阿武隈急行を鉄路で残すことが最重要課題である。

? 議会のギモン

Q 決算審査ってなに?

A 市が前年度にお金を「何のために」「どのように集めたのか」「どのように使ったのか」を議会が審査し、収入と支出が適法かつ適正に行われたか確認することです。

お金の使い方を議会が検証・評価するため、決算審査での意見は、今後の予算編成に生かされます。



決算審査特別委員会での質疑

一般会計・衛生費

母子保健事業 (産婦人科・小児科オンライン相談事業)

問 事業内容について詳細説明を求める。

答 24時間いつでもウェブサイトの問い合わせフォームから300文字以内で送信すると24時間以内に回答が届く「いつでも相談」と、18時から22時までの時間帯(予約制)で10分間通話が可能な「夜間相談」がある。いずれも医師・助産師が対応し、令和6年度から「日中助産師相談」も実施している。なお、本事業は全国共通のシステムを活用しており、会員登録のための合言葉が必要となる。

産業用地造成事業特別会計

問 企業誘致のため、高畑北地内に続き、用地を造成していく予定はあるか。

答 現在検討中である。以前実施した用地の適地調査を参考にし、高畑北地内を除く市内7カ所についても再度検討が必要である。昨今の状況の変化を見据えながら進めていく。高畑北地内に整備した産業用地(現地調査)



▲高畑北地内に整備した産業用地(現地調査)

水道事業会計

問 有収率(*)が昨年度より4.7%下回り、漏水対策は急務である。100万円以上の修繕が5件行われているが、全体の修繕状況について問う。

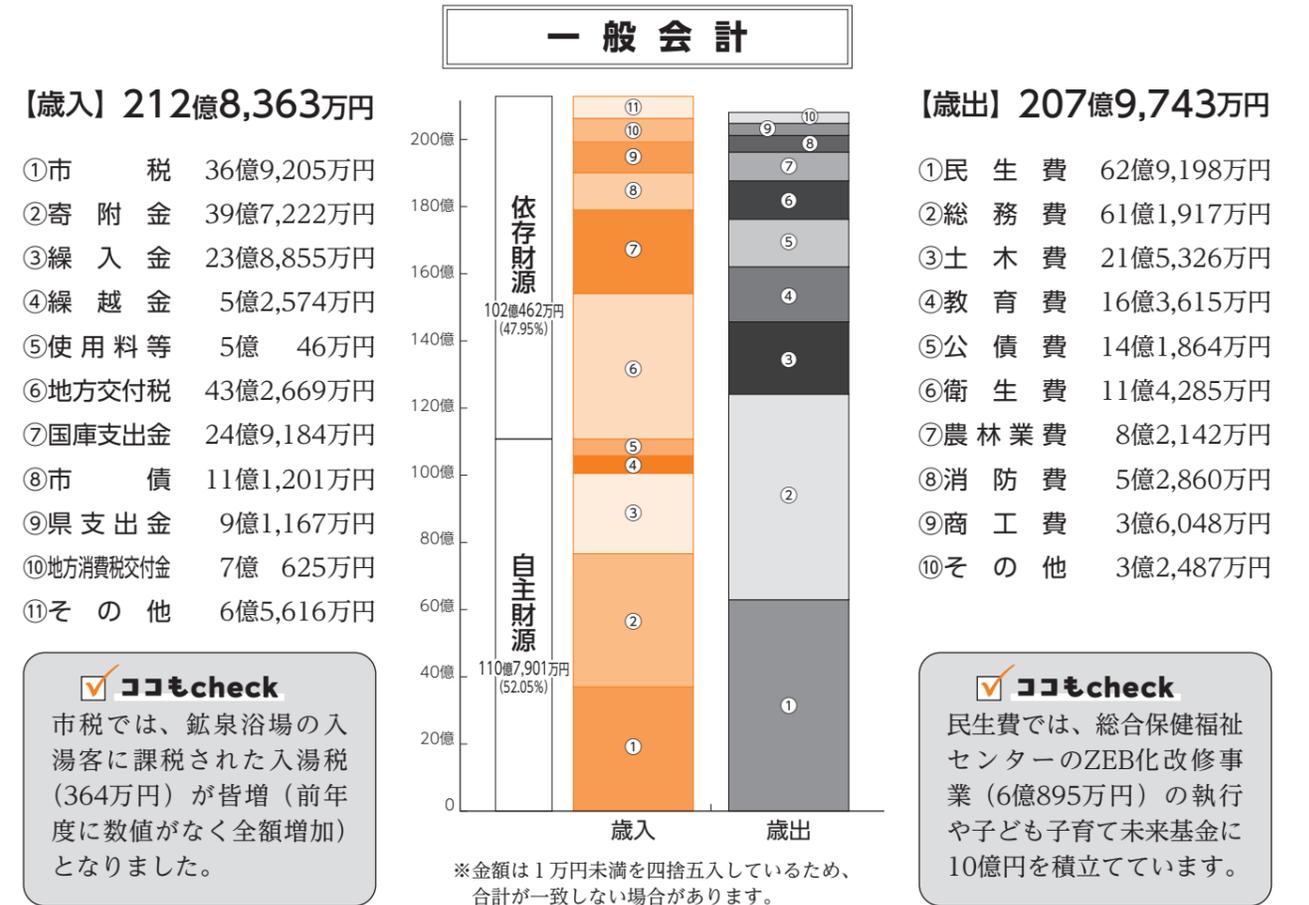
答 100万円以上も含めて配水管16件、給水管112件の修繕を行っている。

(*) 供給した水量がどの程度収益につながっているかを表す。

令和5年度 決算を

認定

9月定例会では、議会選出監査委員を除く15人の議員で構成する決算審査特別委員会(菊地利衛委員長、武藤広一副委員長)を設置し、令和5年度決算の審査を行いました。前年度の予算の使い方が適正かつ効率的であったかをチェックし、一般会計・特別会計及び企業会計いずれの議案も認定しました。



決算に対する本会議での討論



賛 成

武藤 広一

物価高騰等対策支援事業、総合健康福祉センターZEB化改修事業、教育・保育給付事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、防災・減災関連事業など、市民生活に即応した対策が講じられている。ふるさと納税寄附金は39億円を超え、ふるさと応援基金の創設、子ども子育て未来基金・学校施設整備基金に積み増しを行うなど、将来を見据えた財政健全化にも取り組んでいる。当局に感謝し、賛成する。

反 対

八島 定雄

最善の行政を進めるには、デジタル技術に偏重することなく、職員のマンパワーとアナログ対応をデジタル技術と共に有効活用が強く求められる。また、マイナ保険証の事実上の義務化と現行使用の健康保険証廃止は大問題。マイナ保険証が作れない人を国民皆保険制度から置き去りにする。断じて、許すことはできない。水道事業では、有収率が低く、漏水箇所を修繕し、有収率の改善を強く求め、反対する。

令和5年度決算に係る審査の参考とするため、決算審査では、市内数箇所で行われました。



▲郷土資料館災害復旧工事(令和4年3月16日発生の福島県沖地震による被害の復旧)

特別会計・企業会計

会計区分	歳 入	歳 出
特別会計		
国民健康保険事業	33億 170万円	32億9,179万円
後期高齢者医療	4億 469万円	3億9,620万円
介護保険	32億2,653万円	31億7,785万円
産業用地造成事業	5,240万円	5,240万円
東根財産区	31万円	31万円
計	69億8,564万円	69億1,856万円
企業会計		
水道事業	収益的収入支出 10億2,606万円 資本的収入支出 6,609万円	10億3,393万円 5億8,684万円
下水道事業	収益的収入支出 10億 295万円 資本的収入支出 9億2,858万円	9億7,681万円 10億7,299万円
計	30億2,368万円	36億7,056万円

一般質問

一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えを質すことです。質問は一問一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします（その他の質問の要約は掲載されておりません。）。

詳細は、各議員名の下の二次元コードを読み込むと、録画映像をご覧ください。

議員名	質問項目	頁
小湊 毅	角田市の様々な市民団体との連携について	10
八島 定雄	予想される大規模災害と角田市の「備え」について その他の質問 ・街路灯及び防犯灯の維持・管理について ・50代から増える帯状疱疹へワクチン予防接種の助成について	10
菅野 マホ	「角田市アクティビシティ宣言」に係る提案について その他の質問 ・「催事に於ける角田市役所内の連携と調整」について	9
戸村眞喜夫	中山間地域で発生している未曾有の井戸水枯渇問題について	9
瀧口 聖人	グライダー機体の格納庫設置について 飲用井戸水の水质検査費用個人負担軽減について 紙おむつ等購入券利用の対象者について (仮称) 婚姻推進活動支援事業助成金について	8
齋藤 克敏	休日保育の実施について 保育士の待遇改善について	8
質問議員(質問順)	質問項目	頁

ライブ・録画配信を行っています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>



インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末でもライブ中継がご覧いただけます。また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

角田市議会 映像配信 検索

第428回(令和6年9月)定例会

傍聴者数 10人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 297人

インターネット録画中継視聴者数
7月～9月 延べ 767人

議員名	質問項目	頁
齋藤 強	充実した少子化対策について より活気のあるイベントや行事について 快適なスポーツ環境について	12
星 隆悦	「かくだ市民子育て憲章」及び「子宝宣言」について その他の質問 ・子育て支援策(職場環境)等について	12
日下 七郎	市道(行政財産)の管理等について その他の質問 ・角田市橋梁長寿命化修繕計画等に関する事について ・小中学校での健康診断について	11
菊地 利衛	長期総合計画から見た賑わいの拠点づくりについて 阿武隈急行線走り続けさせるために	11
質問議員(質問順)	質問項目	頁

審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席 議長(馬場 道晴)は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果(賛成:反対)	会派一心		かくだ未来倶楽部		日本共産党角田市民団		無会派(会派に所属しない議員)								
				菊地 利衛	小湊 毅	戸村眞喜夫	渡邊 誠	武藤 広一	菅野 マホ	瀧口 聖人	日下 七郎	八島 定雄	齋藤 克敏	湯村 勇	齋藤 強	星 隆悦	柄目 孝治	堀田 孝一
市	議案第60号	角田市子ども医療費の助成に関する条例等の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号	角田市国民健康保険条例の一部改正について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第65号	令和6年度角田市一般会計補正予算(第4号)	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第67号	令和6年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第69号	令和6年度角田市産業用地造成事業特別会計補正予算(第1号)	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第70号	令和6年度角田市水道事業会計補正予算(第3号)	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第72号	令和5年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第73号	令和5年度角田市水道事業会計決算の認定について	認定(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第75号	みやぎ県南中核病院企業団規約の変更について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	角田市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定について	可決(13:2)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

全員が賛成したもの

提出者	議案番号	件名
市	議案第56号	副市長の選任について
	議案第57号	教育長の任命について
	議案第58号	教育委員会委員の任命について
	議案第59号	固定資産評価審査委員会委員の選任について
	議案第61号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
	議案第63号	角田市犯罪被害者等支援条例の一部改正について
議案第64号	市営住宅条例の一部改正について	

提出者	議案番号	件名
市	議案第66号	令和6年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
	議案第68号	令和6年度角田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
	議案第71号	令和6年度角田市下水道事業会計補正予算(第3号)
	議案第74号	令和5年度角田市下水道事業会計決算の認定について
長	諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について
議員	議会議案第2号	阿武隈急行線の存続を求める決議について

皆さんからの陳情
▼母(王乖彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情
張 一文

固定資産評価審査委員会委員の選任
《再任》都 正典
任期 令和6年10月12日(4年間)

教育委員会委員の任命
《新任》平山 恵
任期 令和6年10月1日(4年間)

教育長の任命
《再任》永井 哲
任期 令和6年10月1日(3年間)

副市長の選任
《再任》牛澤 順
任期 令和6年10月1日(4年間)



休日保育の実施について

齋藤 克敏



議員▼介護や医療、障害福祉、サービス業等の方は、曜日や祝日に関係なく仕事に従事することが求められるが、頼れる親族がいなければ働くことは非常に困難である。子どもを家族に迎えることにより、キャリアや自己実現を親が諦めなくてもいいまちこそ、市長の目指すまちづくりの実現に一步近づけることができる。そこで、休日保育を実施する上で課題があるか問う。

保育士の待遇改善について

市長▼十分な職員配置が必要のため、現状の体制での実施は困難と考える。保育士の負担が増加すると、保育の質の低下を招く可能性もある。

議員▼子どもの命を預かる保育の仕事には重い責任が求められる。その責任が賃金等に反映していない現状から、人材不足は深刻な問題である。中島保育所に勤務している保育士の多くは会計年度

任用職員だが、正職員と比べると福利厚生や賃金などの待遇に差がある。今後ますます人材獲得競争は激化していくと考えられ、待遇の底上げを行う必要がある。待遇改善や適正な人員配置を行うと、保育の質の向上にもつながる。その恩恵を一番に受けるのは子どもたちである。待遇を改善する考えはあるか問う。

市長▼対応していかなくてはいけない。子育てをしやすいまち日本一は、他自治体でも行っているが、実現は本市にとって大事である。子育て世帯、守られるべき存在がしっかりと守られていく社会は、どの世代においても住みやすい社会だと考える。それを一つの基準にして、しっかりとやっていきたい。



グライダー機体の格納庫設置について

瀧口 聖人



議員▼宮城県航空協会関係者とグライダー愛好者の方々は、角田滑空場周辺にグライダー機体の格納庫があればありがたいという強い要望がある。角田滑空場周辺に格納庫を設置することについて、市長の見解を問う。

方々には今後も活動を継続していただきたい。議員▼市の補助を増額し、個人負担額を軽減できないのか。

市長▼個人負担の軽減は、市独自の事業であり、上下水道使用料との公平性を考慮している。今後現状況どおり負担いただきたい。

紙おむつ等購入券利用の対象者について

議員▼市町村民税が非課税の方・課税の方関係なく高齢者の介護者に紙おむつ等購入券を支給すべきと考えるが、市長の見解を問う。

市長▼国では、介護保険における地域支援事業としての紙おむつ等の介護用品の支給は、令和8年

度までに廃止・縮小するよう市町村に求めている状況のため、本市としても市町村民税が課税の方を対象に追加する予定はない。

議員▼独身者の婚活を推進することにより、定住人口の増加を促進し、地域の活性化を図るため、婚活推進活動支援事業助成金の交付を要望するが、市長の見解を問う。

市長▼本市では、令和5年度より婚活事業としてみやぎ結婚支援センター入会登録料を全額助成している。定住促進および地域活性化を図るため、婚活に関わるサポートが必要だと考えている。令和7年度に、婚活事業の拡大に着手できるよう準備を進めたい。



中山間地域で発生している未曾有の井戸水枯渇問題について

戸村 眞喜夫



議員▼地球温暖化が原因とされる異常気象による災害多発が、世界的な問題になっている。昨年来、エルニーニョ現象の影響で高温の日々が続き、かつ、降水量が極端に少なく、中山間地域では前例のない渇水状態が続いている。特に小田地区や西根地区の渇水状態がひどく、日常生活に支障をきたす事態が常態化しているため、何とかして欲しいという訴えが多数聞こえてきている。そこで、現在、水道敷設不能地域へ緊急を要する対策(飲料水・洗濯水や風呂水等の生活用水)はどのように行っているのか。

議員▼このような状況で給水車の利用は可能なのか。

市長▼給水車は、断水時の飲料水の供給を目的に運用している。渇水対策として、新たに軽トラックによる運搬が可能な給水タンクの導入を進めている。運用は地区と連携を図り、有効活用できるようにしたい。

議員▼井戸掘り等の根本的な対策にはどのようなものがあるのか。

市長▼飲料水安定確保対策事業で井戸掘削費用の2分の1を助成しており、今年6月末から上限額を30万円から百万円に増額した。ぜひこの機会に活用してほしい。

議員▼高倉配水池整備に伴う配水管布設により給水可能となった西根1区小原田地区の方々に、水

道利用の推進のため、井戸掘削と同じように水道導入費用に補助事業を適用できないか。

市長▼適用できるか、できないかを含めて検討する。

議員▼西根5区釜前地区の白石市水道利用について、市として何か検討しているのか。

市長▼本地区での新たな配水池や配水管の整備には数億円規模の工事となることが見込まれる。住民の方々からかなりまとまった数の水道給水申込があることが前提となるが、現在その見通しは立っていない。

議員▼地区の方より相談に乗ってほしい等の意見が多く寄せられているが、

市長▼要望等があれば、調査をしながら対応をしていきたい。



「オリンピックから学ぶ国旗・国歌の意義」について

菅野 マホ



議員▼表彰式では「日の丸」を背に「君が代」を歌う選手の姿に多くの日本人が感動した。一方、市内の入学式や卒業式に参列すると、児童生徒、保護者の皆さんが国歌を歌わないことに気が付く。日本を愛する心を育むと共に、日本人としての一体感を創造する国旗掲揚と国歌斉唱の意義を改めて確認し次世代に伝えるべく、国の指導と角田市

の取組について問う。

市長▼平成11年に「国旗及び国歌に関する法律」として法制化されている。国から市への指導はない。国旗掲揚は市が主催する多くの式典で行われているが、国歌斉唱は義務ではないので状況に応じて考えている。

「角田市アクティブシティ宣言」に係る提案について

議員▼現在、愛好家の若者は町中で練習をしているが、騒音等の問題があり練習施設を造ってほしい旨の要望があるが、

市長▼練習施設があれば安心して楽しんでいただける。全国的には民間事業者や愛好者が遊休施設

等を活用している事例もある。多方面から調査をしていきたい。

議員▼利用者の方々から「正式な大会を開催する為にも、1コースを増設して4コース(36ホール)にしてほしい」旨の要望があるが、

市長▼1コース増設して欲しいというご要望だが、費用等の面から、現状での増設は難しいと考えている。コースの増設にあたり活用可能な助成金等について検討する。

議員▼あぶくまパークゴルフ場の休憩所に冷房を入れてほしい旨の要望があるが、



八島定雄

予想される大規模災害と角田市の「備え」について

議員▼指定避難所の箇所数と施設ごとの収容可能人数について問う。

市長▼指定緊急避難場所は50カ所、指定避難所は33カ所あり、代表的な指定避難場所の収容可能人数は、市民センターが2674人、総合保健福祉センターが1752人、角田高等学校が1182人である。

議員▼一人当たりのスペースの確保に課題と困難を抱えていないか。

市長▼避難所の円滑な運営のため、初動から応急期の収容可能人数は、屋内面積に有効率0.7を乗じて、一人当たり1.65㎡と計算している。復旧期は、パーテーションやテントでスペースを確保し、段ボールベッド等を使用して避難所生活に困難を抱えない対策を講じる。なお、初動は発災当日、応急期は3日目ま

で、復旧期は1週間まで、復興期は災害対応の段階で、ある程度復興していくまでと分類される。

議員▼炊き出し実施(健康保持の鍵の一つである「温かい食事」の提供)のための調理器具や食材の準備はできているか。

市長▼調理器具の準備はないが、初動から応急期までは、アルファ米を備蓄し対応する。ライフラインの途絶や集団生活といった条件での避難所は、様々な感染症、食中毒のリスクが高まるため、発災直後から衛生管理に徹底して取り組むこととしている。

所を訪れた場合には、食料等の配布を行う。

議員▼避難所・在宅避難所別に、必要食数の報告ができる環境にあるか。

市長▼避難所別の必要食数の把握は可能だが、在宅避難生活を余儀なくされる方の把握は困難。しかし、食事を求めて避難



一般質問の映像配信をご覧ください。



菊地利衛

長期総合計画から見た賑わいの拠点づくりについて

議員▼中心市街地および角田駅前、角田市の顔としての都市機能を有し賑わいの拠点として市内外から集めたいとするエリアであるべきと考えるか。

市長▼賑わいの拠点としての機能を有したエリアであることが望ましい。議員▼20年以上前から駅周辺開発などを重点課題として計画しているが変化がなく計画とは相当乖離している。

市長▼市街地再生等の取組を継続しているが計画通りとはいえない。

議員▼雇用対策の計画もあるが、従業者数の減少幅が近隣市町より圧倒的に大きい。

市長▼危機感を抱いている。

議員▼計画達成率が非常に低い。達成感が持てる計画の立て方が重要だ。

市長▼その通りである。議員▼結果に結びつかない理由は、①前の計画の分析をせずに計画し、②達成に向け誰が何をするか明確でないからだ。

市長▼①は分析・実績点検を行っている。②は全ての業務に担当部署がひも付いており、毎年の行政評価と3カ年の実施計画を策定し、PDCAサイクルを回しており明確である。

議員▼郷土資料館を街中交流拠点にする第5次計画は達成したのか。

市長▼本町パークの整備を行い、一つの拠点とされているが、現在進行形である。

議員▼ならば第6次計画に反映させるべきだ。

市長▼街なか交流拠点も含めたまちづくりについては、見直しが必要と考えている。

議員▼第6次計画の主要課題に掲げている「地域資源フル活用」とは、誰が何を活用するのか。

市長▼町なかで言えば郷土資料館等の既存施設の活用等、これまでのまちづくりで蓄積されたものを活用し動かしていく。

議員▼目標と手法はシンプルに誰にでも分かるようにしなければPDCAサイクルも回せない。

市長▼意見を真摯に受け止め活かしていく。

阿武隈急行線を走り続けさせるために

議員▼存続が決定しても多額の支援金が続けば、近い将来存廃議論が再発する。利用拡大のためSNS等で沿線の魅力を発信する仕組みを作るべきだ。

市長▼やるべきと考える。議員▼沿線自治体の広報紙やホームページに「阿武隈急行線見所紹介コーナー」を設け、沿線住民に「目的地」を提案すべきだ。

市長▼沿線自治体に働きかけていきたい。

議員▼経営改革には経営に精通した人材を選任する必要があり、公募制等に変わっていくべきだ。

市長▼経営体制の再編について、各取締役等と慎重に検討していきたい。

議員▼現状で未改良の市道



小湊毅

角田市の様々な市民団体との連携について

議員▼「市民活動に関するアンケート調査」が行われた。アンケート結果をどのように扱うのか。

市長▼市民活動支援センター(以下「支援センター」という)の設立に向け、市内のNPO法人や市民活動団体へのニーズ調査を目的に実施した。アンケート結果は、支援センターの設立に向けた基礎データとして、本市の実情に即し、市民が集い主体的に活動できる支援センターとしていくための検討資料として活用する。なお、アンケート結果の公表は、基本方針をまとめる中で示していくことを検討していく。

議員▼団体を維持していく場合、団体の問題、団体の会員などの不平不満がある際に話を聞く、問題解決に共に取り組む方

という体制があることが非常に重要と考える。これを考慮した体制を、市として構築する考えがあるか。

市長▼市民活動団体が活動していく上で、様々な問題や課題が生じていることや、活動を継続していくように課題解決に向けて共に取り組んでいくことが行政の役割であると認識している。「市民活動に関するアンケート調査」では、課題として、会の継続、会員、後継者がいない、新しい会員が入らない、活動資金が足りないなど、回答いただいているので、必要な支援を検討していく。そのためにも、市民活動団体の実態をしっかりと把握することが最も重要であり、令和7年度から、専任職員の配置をし



一般質問の映像配信をご覧ください。



日下七郎

市道(行政財産)の管理等に関する事について

議員▼道路交通法施行令が改正(以下「改正施行令」という)され、2026年9月1日に施行となる。

市道路線認定調書(令和6年3月31日)の道路現況一覧表によると、幹線1級・2級72路線の実延長が14万3917.2mのうち、未改良分の延長(幅員が狭く、車道中央線・車道外側線の未表示)が1万5062.7mとなるため、当該未改良延長分に係る規格については、角田市市道の構造の技術的基準に関する条例(以下「条例」という)第3条の道路の区分の規定に基づき改良工事を行うこととなるが、改正施行令の施行に対応するために第一に優先すべきだと考えるが、市長に問う。

市長▼現状で未改良の市道は、議員指摘のとおりであるが、2026年9月1日までにすべて改良することは、現実的に難しいと考えている。

現在、本市の道路改良は防災・減災構想に係る事業や要望があった箇所を優先して実施している。改正施行令の施行まで期間も短く、予算も限られるため、第427回定例会で答弁のとおり、交通量の多い1級・2級などの幹線道路や歩行者が多い街なかの道路、学校周辺などの生活道路への車道中央線・車道外側線の表示を優先して対応をしていく。

議員▼幹線1級・2級の未改良1万5062.7mの現状と条例の規定に基づく改良工事の実施計画を問う。

市長▼未改良の主な現状は、条例に定める幅員と

なっていないことである。なお、令和7年度から9年度の角田市第6次長期総合計画上の実施計画で、1級市道の駅前花鳥線、寺前笠島線、横倉高倉線及び南大坊泉田線、2級市道の南町斗蔵線及び戸掛観音線において測量設計と工事を予定している。議員▼市道敷地を角田市が取得後、移転登記ができないものが、過って400筆の未登記と思うが、未登記市道敷地の登記の進捗について問う。

市長▼未登記の筆数は令和5年度末現在で257筆である。登記の進捗は、令和3年度で3筆、令和4年度で10筆、令和5年度で4筆の登記を完了し、移転登記可能となったものから順次処理を進めていく。



一般質問の映像配信をご覧ください。



「かくだ市民子育て憲章」及び「子宝宣言」について

星 隆悦



充実した少子化対策について

齋藤 強



議員▼第427回定例会の私の一般質問における市長の反問に対し、「コペルニクスの発想による子育て支援策について、今は出産で亡くなる女性はほとんどいないが、命懸けの行為である。戦前のような多産奨励主義の強要ではなく、女性への尊崇（リスペクト）の念を込めた「子宝宣言」の制定や「子宝宣言」も必要だ。宮司でも黒須市長こそ他自治体にな...

制定は、先見の明があり大変良かったと思うが、憲章碑建立の予算額は241万円で、その後の移転費用を含め多額の費用が当時の議会でも審議され、今考えれば不要な支出と思われる。市民は「かくだ市民子育て憲章」をほとんど知らないと思われる。市民に対し、この憲章を知ってもらうための具体的な策を問う。

市長▼憲章は、市民・事業者・行政がそれぞれの役割の下に一体となり、少子化、子育て支援対策に取り組むための重要な指針である。今後、角田市は「子育て支援サイト」や広報かくだ、保育施設等への掲示、今年度策定することも計画にも示し、広く市民に周知していきたい。



議員▼中核病院の周産期医療再開はいつ頃か。市長▼令和9年度までに再開を目指している。議員▼小児科招致はどのように取り組んでいるか。市長▼令和5、6年度に業務委託による招致の採算性等を検討。補助制度等を実施した場合には実現可能性がある試算になった。

議員▼小児科医の確保が最も困難な案件では。市長▼他自治体で成功した医師公募等の調査や大学病院等の情報収集を行っている。議員▼市内既存病院の一角を借りて、週2日から3日程度の診療ならば大学病院等からの医師派遣も現実的に可能では。市長▼補助制度創設のほか、選択肢の一つとして検討していきたい。

議員▼夏まつりを、以前の仲町通り、天神町通りに戻す考えはないか。市長▼実行委員会による検討を今後も取り入れていきたい。議員▼市外の方も多く来場する新規イベントで賑わいの創出を図っては。市長▼恒例イベントの魅力向上とKスポの推進のため、関係機関と連携しながら検討していく。

全会一致で可決

議案第2号

阿武隈急行線の存続を求める決議

角田市議会では、阿武隈急行線の厳しい経営状況と沿線自治体住民有志が活発な活動を推進していることなどを踏まえ、第428回定例会の最終日に、議案「阿武隈急行線の存続を求める決議」を提案し、全会一致で可決しました。決議の内容についてお知らせします。

決議とは、議会としての意思を対外的に表明するために行われる議会の議決のことです。

阿武隈急行線の存続を求める決議

宮城県柴田町と福島県福島市を結ぶ阿武隈急行線を運行する阿武隈急行株式会社は、人口減少による利用者の減少に加え、令和元年東日本台風や令和4年3月の福島県沖地震等の度重なる自然災害、新型コロナウイルス感染症の影響、更には施設の老朽化に伴う修繕費等の増加により、経営状況は非常に厳しいものとなっている。

このような状況を踏まえ、阿武隈急行株式会社の赤字拡大を抑制するための抜本的な経営改善方策を議論するため、令和5年3月に阿武隈急行線在り方検討会が設置された。これまで6回の議論がなされており、バス転換についても検討が進められている。

阿武隈急行線は、角田市民のみならず、沿線自治体住民の通勤や通学、通院などの日常生活に欠かすことのできない鉄路であり、観光や地域振興においても重要な役割を担っている。そのため、本市の財政状況が厳しいことは十分認識しているものの、引き続き関係自治体及び関係機関などの協調の下に経営支援を行うとともに、現在の鉄路を維持し、仙台駅直通便を存続させ、阿武隈急行株式会社や沿線自治体などと共に、利用促進に向けた取組をより一層推進することが必要である。

バス転換による鉄道の廃止、仙台駅直通便の廃止は、角田市民と沿線自治体住民の利便性を大きく低下させ、更なる利用者離れの要因となり、地域そのものが衰退へ向かうことが強く危惧される。阿武隈急行線は、道路や橋、河川整備、上下水道と同じ重要なインフラであり、角田市民と沿線自治体住民の生活に必要不可欠なものである。

よって、角田市議会は、阿武隈急行線の存続を強く求めることを決議する。

令和6年9月26日

宮城県角田市議会

議会日誌

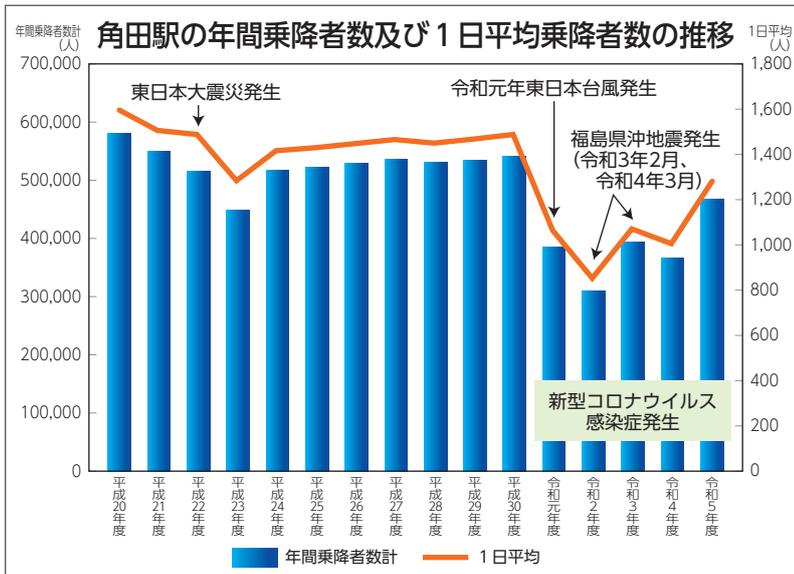
- 7月 議会運営委員会
8月 議会だより第228号発行
9月 議会運営委員会
10月 議会だより編集会議

阿武隈急行線の鉄路維持を

～市長に「阿武隈急行線の存続を求める決議」を提出しました～

第428回定例会において「阿武隈急行線の存続を求める決議」（13ページに掲載）が全会一致で可決しました。阿武隈急行線は重要なインフラであり「市民と沿線自治体住民の日常生活に必要不可欠である」「鉄路の廃止は地域の衰退につながる」「鉄路として維持することなどを盛り込んだ決議書を馬場議長（写真右）から黒須市長に提出しました。

10月4日、宮城県と沿線自治体の角田市、柴田町、丸森町は、宮城県側区間の鉄路を維持する方針で合意しました。



年間乗降者数及び1日平均乗降者数は、阿武隈急行株式会社の会社概況（令和6年7月1日現在）の数値をグラフ化したものです。

議会だよりクイズ

「あぶきゅう」のこと、皆さんわかりますか？

- Q1 あぶきゅう（槻木駅～福島駅）に駅は全部でいくつある？
- Q2 あぶきゅうの路線距離は何キロメートル？
- Q3 あぶきゅうが全線開通したのはいつ？
- Q4 あぶきゅうの車両基地はどこにある？

クイズの答えは令和7年1月発行の議会だよりに掲載します。お楽しみに！

編集後記

市長・副市長・教育長が再任となりました。角田市民の為、将来の角田市の為、しっかりとした施策を行って頂くことを期待しています。今回の議会は、昨年度の施策に対する評価に対する決算審査が主な議題となりましたが、この審議により、本年度の補正予算、来年度の施策につなげる内容になれたと思います。議会・議員として、施策に対する評価検証、そして新たな施策の提言を今後もしっかり行ってまいります。

皆様のご意見、ご要望、ご不満等をお気軽にお話し頂けると幸いです。

議会だより編集会議
委員 小湊 毅

12月定例会の予定

会期
12月4日(水)～12月20日(金)

本会議の日程（午前10時開会）	
12月4日	提案理由の説明
13日	質疑・自由討議
18日	討論・表決・一般質問
19日	一般質問
20日	最終日

※日程は変更になる場合があります。
※本会議はライブ配信を行います。

請願・陳情の提出期限は
11月27日(水)まで

議会だより第228号(8月号) アンケート結果

どのような内容であれば、さらに「かくだ市議会だより」を読みたくなると思いますか。(複数回答)

- ① 市政に関する特集 3人
- ② 写真やイラストが多い 2人
- ③ 見やすいレイアウト 1人
- ④ 身近な人(市民)が登場する(市民の声、市民との対談等) 3人
- ⑤ 定例会や委員会以外の議会活動 3人
- ⑥ 各会派の活動や紹介 4人
- ⑦ 各議員の活動や紹介 4人
- ⑧ このままでよい 1人

詳細は市議会のホームページをご覧ください。